



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

キリバス共和国

— 2019年度 地域巡回機能回復等推進事業 —
(終了時評価 2020年4月)

事業概要

国名	キリバス共和国
プロジェクト名	2019年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2019年8月1日(覚書署名)～2020年3月31日
相手国政府覚書署名 省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源開発省 (MFMRD : Ministry of Fisheries and Marine Resource Development) 実施機関：漁業海洋資源開発省水産局

プロジェクト実施の経緯と背景



キリバス共和国(以下「キリバス」という。)は国家開発計画(Kiribati Development Plan 2016-2019)の中で、1) 人材開発、2) 経済成長と貧困の減少、3) 保健、4) 環境、5) 行政、6) 社会基盤の6項目の優先政策目標を打ち出している。また、「2013-2025 キリバス国家漁業政策(Kiribati National Fisheries Policy 2013-2025)」では、「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長及び雇用機会の創出並びにキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」を目標として掲げている。これらの達成のため、基本戦略と

して社会的、経済的分野で開発が遅れている離島地域の漁業開発・振興を挙げている。

このような戦略の下、キリバス政府は各種の漁業振興施策を実施しているが、特に離島における水産関連施設は、故障や老朽化等あるいは運営管理の不備のため本来の機能を発揮することができず、漁業の開発・振興に支障を来している。

このため、キリバス政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設の修理・修復及び技術移転並びに関連組織への指導・助言についての支援要請を行った。

財団は、我が国とキリバスとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興施策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される。
成果	<p>① クリスマス島における船外機のメンテナンス講習会 船外機の機能及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>② 製氷機整備講習会及びタナエア・ワークショップ機能強化 当該施設の機能及び維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>③ クリア漁業センター発電機及び製氷機の修理・修復及び技術指導 当該施設の機能及び維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>④ 沿岸における人工集魚装置（以下「FADs」という。）漁業及び FADs 製作・設置に関する技術指導と講習会 FADs 操業能力及び当該装置の維持・管理に係る技術が向上した。</p>
活動	<p>① クリスマス島における船外機のメンテナンス講習会 ・ 2 ストローク及び 4 ストローク船外機のメンテナンスに対する座学及び実技講習会 ・ ワークショップの環境整備の指導</p> <p>② 製氷機整備講習会及びタナエア・ワークショップ機能強化 ・ 製氷機の日常点検方法の指導 ・ ワークショップの機能強化並びに製氷機及び船外機整備工具類の維持管理の指導</p> <p>③ クリア漁業センター発電機及び製氷機の修理・修復及び技術指導 ・ 発電機の設置から送電確認までの技術指導 ・ 発電機の定期整備及び予備品管理手法の指導 ・ 製氷機ポンプ及び製氷用散水パイプ交換指導</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・製氷機メンテナンスにともなう技術指導 ④ 沿岸における FADs 操業及び FADs 製作・設置に関する技術指導と講習会 ・FADs の製作・設置に係る座学及び実習での技術指導の実施 ・FADs 周りで使用する漁具（流し立て縄漁具）の製作・設置に係る座学及び実習での技術指導の実施 ・流し立て縄漁具を使用した海上試験操業の実施 ・FADs の適切な管理のための関係者会議を通じた技術指導の実施
投 入	<p>財団側</p> <p>1) 専門家</p> <p>計画</p> <p>第 1 回巡回指導：チームリーダー／漁業技術専門家 漁船機関専門家 2019 年 11 月 14 日～12 月 11 日（約 30 日）</p> <p>第 2 回巡回指導：チームリーダー／漁業技術専門家 漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2020 年 2 月 25 日～3 月 23 日（約 30 日）</p> <p>実績</p> <p>第 1 回巡回指導：チームリーダー／漁業技術専門家 2019 年 11 月 19 日～12 月 18 日（30 日） 漁船機関専門家 2019 年 12 月 04 日～12 月 18 日（15 日）</p> <p>第 2 回巡回指導：チームリーダー／漁業技術専門家 2020 年 2 月 16 日～3 月 22 日（36 日） 漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2020 年 2 月 28 日～3 月 22 日（24 日）</p> <p>延日数</p> <p>計画：（150 人・日） 実績：（129 人・日）（計画対比：86%）</p> <p>2) 主な資機材</p> <p>船外機のメンテナンスに対する座学及び実技講習教材一式、ワークショップの機能回復及び保守に対しての環境整備機材一式、製氷機整備講習会のための部品・教材一式、工具類と作業環境整備資機材一式、発電機及び発電機の保守整備部品、製氷機修理・保守整備部品、FADs 製作実習用資機材</p>

	<p>3) 事業費 予算額 30,493 千円 実績額 30,900 千円 (予算対比 : 101%)</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート</p> <p>第 1 回巡回指導</p> <p>Project Officer, MFMRD Fisheries Assistant, MFMRD Senior Fisheries Officer, MFMRD Marine Technician, MFMRD Fisheries Technician, MFMRD 2 名</p> <p>第 2 回巡回指導</p> <p>製氷機整備講習会及びタナエア・ワークショップ機能強化うち製氷機整備講習会カウンターパート</p> <p>MFMRD 6 名</p> <p>CPPL (Central Pacific Producers Ltd.) 3 名</p> <p>製氷機整備講習会及びタナエア・ワークショップ機能強化うちタナエア・ワークショップ機能強化カウンターパート</p> <p>Marine Technician, MFMRD Fisheries Technician, MFMRD Marine Mechanic, MFMRD 3 名</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等</p> <p>MFMRD、水産局、各離島漁業センターにおける電気・水道・電話(国内通話)・発電機燃料の無償提供、国内資機材搬送費の負担</p>
--	---

評価事項

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、キリバス政府が策定した国家漁業政策に目標として掲げられている「持続的漁業、養殖、海洋資源開発を通じた経済成長と雇用機会の創出及びキリバス国民の食糧安全保障と生計の維持」に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

キリバス政府は財団に対して、現地技術者への技術移転及び関連組織への指導・助言を要請しており、事前調査において、

- ①クリスマス島における船外機のメンテナンス講習会
 - ②製氷機整備講習会及びタナエア・ワークショップ機能強化
 - ③クリア漁業センター発電機及び製氷機の修理・修復及び技術指導
 - ④沿岸における FADs 漁業及び FADs 製作・設置に関する技術指導と講習会
- に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、製氷機、発電機等の廃油、冷媒及び機械の廃棄部品等の扱いについては、適切な回収装置を用いるなど、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象施設は、漁業センターの製氷機・発電機等であり、製氷活動が活性化することで間接的に現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定される。しかし、氷を用いる漁業者は底釣り、曳縄、魚突き漁業等の無動力カヌーを利用した零細漁業者が主であり、漁獲圧力は高くない。

また、改良型 FADs モデルも沿岸零細漁業用の FADs であり、導入による資源への影響は限定的である。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

事業費は予算をわずかに上回ったが、実施期間は計画した期間より短縮されたことから、効率性は高いと評価。（予算及び計画対比：事業費 101%、実施期間 85%）

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で移転技術の指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、移転技術はカウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

第2回巡回指導では、COVID-19の世界的流行により、専門家1名（チームリーダー）の現地入り前にフィジーで2週間の自己隔離期間が必要となったが、この期間を講習会の準備等に充て、ほぼ当初予定どおりの活動を実施することができた。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される。

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの知識及び水産関連施設に対する管理・運営能力が益々向上し、プロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① クリスマス島における船外機のメンテナンス講習会

期待された成果：船外機の機能向上及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

カウンターパート及び周辺漁民に対し船外機の修理・修復についての講習会を行い、技術レベルが向上し、船外機の機能及び施設の維持管理に係る技術が向上し、稼働が円滑になった。

② 製氷機整備講習会及びタナエア・ワークショップ機能強化

期待された成果：ワークショップ機能強化、当該施設の機能向上及び維持・管理に係る技術が向上する。

製氷機整備講習会において日常的な点検方法を指導するとともに、ワークショップの機能強化と製氷機及び船外機の工具類の補完並びに維持管理に関する指導を行った。カウンターパートに対し修理・修復及び維持・管理に関する技術指導を行ったことにより、

技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

③ クリア漁業センター発電機及び製氷機の修理・修復及び技術指導

期待された成果：当該施設の機能向上及び維持・管理に係る技術が向上する。

製氷機及び製氷機用発電機の修理・修復及び製氷機の維持・管理を行い、カウンターパートに対し維持・管理に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設機能が向上し、稼働が円滑になった。

④ 沿岸における FADs 漁業及び FADs 製作・設置に関する技術指導と講習会

期待された成果：FADs 漁業能力の向上及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

カウンターパートや漁民に対し、FADs の製作に係る技術指導を行い、2 基の FADs を製作するとともに、2 度の海上実習により、それらの FADs を設置した。また、FADs 周りで使用する 3 種類の漁具の製作に係る技術指導を行い、製作した漁具を使用して 2 度の海上実習を実施した。さらに、関係者間会議でルールを策定・共有するなどして、FADs の適切な管理に係る技術指導を行った。これらにより、FADs 及び FADs 周りで操業するための漁具の作成や適切な利用、FADs の保守・管理能力に係る技術が向上した。

◆インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

製氷機、発電機、船外機の修理・修復及び FADs に関するカウンターパートの技術が向上し、各漁業センターの製氷機、発電機が順調に稼働し、船外機や FADs が安定的に運用されれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に寄与することが期待される。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、各漁業センターの製氷機、発電機が安定的に稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、漁獲物の品質向上により魚価が上昇し、漁民の所得が向上することから、対象地域の経済の活性化に対する直接的な効果の発現が見込まれる。また、FADs を用いた操業が持続的に行われるようになれば、漁民の所得の向上、安定を通じ、同様の効果の発現が見込まれる。さらに、氷は地域住民にも供給されることから、生活環境の向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見でき

なかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか
カウンターパートは MFMRD の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。
供与された資機材は、各漁業センターの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。
2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか
本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、キリバス政府は国家開発政策に基づき離島漁業センターの活用を推進しており、漁業センターの継続的運営に積極的に関与している。したがって、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。
3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

以上